

第1回協議会だより 《西方部》



—令和4年6月1日（水）15:00～16:40 ニコニコこども館 3階研修室—

【実践発表】 郡山市立小山田小学校

「スタートカリキュラムの実践」～子どもが安心できる環境づくりを目指して～



小山田小学校の実践発表では、『SDGs「誰一人取り残さない」教育の推進～多様性と調和を目指して～』をテーマとして掲げ、人との関わりや繰り返し経験する場の設定を意識した様々な活動が紹介された。

今年度は同じ幼稚園から入学する子が多い中、一人から二人での入学で不安を抱えてくる子も多いため、子どもたちが安心して学校生活が送れるよう、スタートカリキュラムを基盤としたきめ細やかな取り組みを行っている。

国語科の実践事例「こんなもの みつけたよ」では、自分で発見した事象をタブレットで撮影し、その後に発表の場を設け、互いに教えあう経験を通して自己肯定感や自己有用感の醸成に繋げている。事例の写真からも、子どもたちの生き生きとした表情が伺えた。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



☆ 小山田小学校の発表について

- ・コロナ禍でも感染対策を図りながら、異学年や地域交流を積極的に取り入れているため、子どもたちは仲間と楽しく過ごしている。改めて、人との交流の大切さを感じた。
- ・幼稚園・保育所の経験を基盤とし、「人との関わり」「繰り返し経験する」「何度もほめて一緒に共感する」等に重点を置き、安心できる環境で活動をしていることが理解できた。

☆ アプローチカリキュラムからスタートカリキュラムへの連携について

- ・小学校でのタブレット活用を踏まえ、幼・保の教育、保育活動にも取り入れてはどうか。
- ・アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムについては理解をしているが、実際にカリキュラムに沿った活動の様子を参観したい。
- ・就学時健康診断の内容や個別支援等の情報共有が必要である。

☆ コロナ禍における保育（教育）の取り組み

- ・コロナ禍で小学校見学の機会が無いので、就学児童の不安解消のためにも幼・保・小の連携が必要である。

《参加者からのアンケートから》

- ・小山田小の取り組みは、幼・保での実践をレベルアップした内容で小学校生活をスタートしていることを知りました。子どもたちにとって安心できる環境だなと感じました。（幼稚園：女）
- ・幼稚園・保育園の活動等、様々な点についてお聞きすることができました。コロナ禍でも、工夫していることを実感しました。（小学校：女）

「相互参観だより」は総合教育支援センターのウェブサイトにも掲載いたします。